

## 第 125 回 番組審議会 議事録

開催日時：2024 年 11 月に郵送にて開催

- 1) 出席委員（総数 5 名：出席数 5 名）
- 2) 大畑卓也／今岡あい／本田敬士／伊藤健飛／近藤慎一

---

### 2) 審議番組の内容

番組タイトル ラビートミュージックセレクション

パーソナリティ :優里奈(ゆりな)

放送日時 2024 年 10 月 31 日(水) 14 時～15 時

#### 概要

ラビートの音楽マニア集団による音楽たっぷりの 1 時間。

ラビートの中でも音楽通で知られる 4 人のパーソナリティが日替わりで担当します。

---

### 3) 審議の内容

#### 【大畑委員】

ミュージックセレクションという名の通り、音楽満載の番組でした。パーソナリティの優里奈さんは J-P O P がとても好きだと伝わってきました。トークのスピードを少しゆっくりされると、リスナーの皆様は聞き取りやすいと思いました。また、ゆっくりと話すことで言い間違いや、言葉に詰まることも減らすことができると感じました。

選曲については、年代も性別も幅広くセレクトされており、どのリスナーにも喜んでもらえる内容であったと思います。私は職業柄、10 代や 20 代と接する機会が多いのですが、10 代の女性は K-P O P をよく聞いています。色々チャレンジされているのを垣間見ることができました。素晴らしいと思います。

今回、番組内で紹介することのできなかった、サカナクション『怪獣』も拝聴させていただきました。とても魅力的な曲で何回でも聞きたくなる曲でした。

#### 【今岡委員】

冒頭、優里奈さんの「こんにちは」「こんばんは」から始まる挨拶が昼夜のリスナーどちらにも配慮を感じて好印象でした。はまっているアニメの話から、そのアニメにぴったりだと思ふ曲を紹介するところ、リスナーが知らないようなアーティストを紹介するところに、優里奈さんの“音楽通”を感じさせる部分が垣間見えました。一方で、少し気になることが2点ありました。

- ・メッセージテーマ「小さい頃の夢」の雑談時に「大学生になっても夢を持っている人はなかなかいない」という発言→そんなことないのでは、、、と思います。
- ・「あせあせ」という発言→若者言葉でしょうか。言葉の意味が伝わらない世代もいるかもしれません。

#### 【本田委員】

番組名の通り、国籍・年代・性別・趣味嗜好とバラエティに富んだジャンルの曲が聴けて、学びのある番組です。リスナーからのリクエスト曲に対して、MCのおすすめ曲を続ける、返歌みたいなくだりが良い。もっとわかりやすくアンサーソングのコーナー作っても良いかも。

音楽だけでなく漫画の紹介もしてくれてうれしいが、関連の曲を流してほしかった。曲を流す前に説明するパターンと、まったくしないパターンとがあって、その法則性が分からなかったのも、もっと明確にカテゴリ分けしても良いかも。ラジオで音楽番組を名乗るとなると、なかなか王道ど真ん中を突き進んでいくので、比較される対象も多く大変かとは思われますが、オリジナリティを確立していってほしい。

【伊藤委員】

ラビートミュージックセレクションの 2 回の放送時間帯で聞かれている様子としては、勤務中の車の中や、事務所内。仕事からの帰り道や、勉強中といった「流し聞き」で聞かれている方が多いと考えます。しつこくなく、深く悩んでしまうこともない話題の取り上げ方がすっきりとしており、流し聞きしやすく感じました。選曲に関しても 10~20 代にターゲットを合わせたような 10 月放送タイミング時に話題に上がっているような曲を選ばれているのも、ターゲットにしっかりと当てはまっていると思いました。

14 時~の部で「夜お聞きの方はこんばんは」という一言がすごく好感を持てました。再放送もありますが、ラジオはライブで聞かれているだけではないよ。ということを意識されているのかなと感心しました。ミュージックセレクションの名前の通りセンスが光る選曲かと思います。アパツの SNS 流行りはもちろんのこと、Asami こっち向いてほしい、秦 基博×sumika ハローサーリアルは、アルバムが出たり秋クールのドラマに起用されたりと放送のタイミングで話題に上がっている曲をよく押さえられていると思います。サカナクションの選曲も 10~20 代のツボを押さえているなと感じました。地元歌手の加藤ミリヤを選んだのは個人的にすごく良い選曲だと思います。

松田聖子の瑠璃色の地球が急に時代感も代わり何か狙いがあったのかな？と感じました。カムバックアーティスト企画への繋ぎの意図ならば耳心地良く聞くことができました。カムバックアーティストは、最終週のこの企画のために聞いてくれる方がいるなら見当違いな意見ですが、多分自分が 10 代の時に聞いていたら、興味を削がれてこの企画が来た段階で ch 変えてしまうか、YouTube に離脱してしまうと思います。サブスクリプションで音楽を聴いたり、動画をスマホで見るのが移動時間の当たり前になりつつある中で、メディアの内容に対して長時間聞けない・見られない、飽きが早くなった。ということも耳にします。

この時代に敢えてラジオを聞かれている、番組を聞いている対象者へ向けもっと絞った企画や音楽提供をしてもいいのでは？とも感じました。

【近藤委員】

話し方や声のトーンなどはとても聞きやすく良いと思います。

番組名がミュージックセレクションということで曲の再生時間と曲紹介が多く、リスナーから募集したテーマやそれにちなんだ曲のリクエストという番組構成は申し分ないのですが、パーソナリティーとしてのトークがもっと欲しいと思いました。音楽が聴きたくて、または曲にまつわる情報が欲しくてこの番組を聴くのか、パーソナリティーのトークが聞きたくてこの番組を聴くのかよくわからない感じになりました。曲紹介や曲にまつわる情報が欲しいだけなら、上手に喋れるパーソナリティーなら誰でもいいわけで、欲しいのは曲。

そうじゃなくて、優里奈さん声が聞きたい、優里奈さんのファンになるためにはもっと優里奈さん自身のことを発信してもいいのではと感じました。

具体的には大学生のキャリア相談のような話とか、そういった優里奈さんの活動内容をもっと話していただけると、優里奈さんのファンになっていけると感じました。

番組名がミュージックセレクションなので、曲や曲にまつわる情報を全面に出さなければならないと思う反面、誰でもいいわけではなく、あなただから聴きたい、そんな番組になるようにもっとパーソナリティーの個性をどんどん前に出していただいた方がもっと魅力的な番組になるのではないかと感じました。